

会議の要旨（議事録）

| | | | |
|-------|---|------|-------------|
| 会議の名称 | 平成28年度 第1回鳥栖市環境審議会 | | |
| 開催日時 | 平成28年12月2日(金) 15:00~15:40 | 開催場所 | 市役所2階 第1会議室 |
| 出席者数 | 委員10人 事務局 3人 | 傍聴人数 | 1人 |
| 議題 | 第2次鳥栖市環境基本計画（改訂版）の策定に伴う パブリック・コメントにむけた計画（案）について | | |
| 配布資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・第2次鳥栖市環境基本計画（改訂版）（案） ・資料1 見直しの概要 ・資料2 アンケート結果 （市民及び事業所アンケート調査票含む） ・資料2-1 市民アンケートの自由意見 ・資料3 鳥栖市環境事業計画書（中間点検） ・資料4 鳥栖市環境事業計画書（後期計画） ・「課題と現状」の新旧対照表 | | |
| 所管課 | （課名）環境対策課 （電話番号）0942-85-3561 | | |

平成28年度 第1回鳥栖市環境審議会

- 【日時】 平成28年12月2日（金） 15:00～15:40
- 【場所】 市役所2階第1会議室
- 【議題】 第2次鳥栖市環境基本計画（改訂版）の策定に伴う
パブリック・コメントに向けた計画（案）について
- 【出席】 宮島会長、佐田副会長、徳淵委員、境委員、高原委員、
林委員、鷹委員、和田委員、實松委員、木村委員
- 【事務局】 楨原課長、竹下課長補佐、野中担当係長

議事録

議事（質疑応答）

- （委員） 各取組の柱の右ページにある各主体の取組に行政の取組とあるが取組の担当課を記載しないのか。環境事業の報告書には担当課が書いてあるので、記載したほうがわかりやすいのではないか。
- （事務局） 今回、各主体の取組の変更は考えていなかったが、担当課を記載したほうがわかりやすいということであれば、そのような構成を検討して、可能であれば修正し、改訂版には反映したい。
- （委員） 31ページに「市民活動団体が行う」と出てくるが市民活動団体には自治会や各地区のまちづくり推進協議会もある。特にまちづくり推進協議会では環境の専門部会を設け、環境保全やごみ処理の取組を頑張っている。まちづくり推進協議会の活動についても記載してほしい。活動の励みにもなる。
- （事務局） 各地区のまちづくり協議会については、現行計画の策定後に発足しているため、先ほどの内容は今回新しく出てきた内容であるため、30ページの現状と課題の中段に「また、市民・市民団体・事業者・行政により構成される…」とありますが、そのあたりに市民活動団体としてのまちづくり推進協議会について具体的な記述を入れるのか、あるいは、各主体の取組にある市民の取組の中にわかりやすい形で記載させていただきたい。
- （委員） 26ページの取組の目標にある「リサイクル率」が策定時より悪くなっているがその理由は何か。

(事務局)

リサイクル率は、ゴミの総量に対して資源物としてリサイクルされている割合である。市の施策に変更はないが、今回、策定時より減少している理由は、資源物回収場所が、市役所から真木町にある衛生処理場に移ったことで、利便性が低下し、それに伴い資源物の回収量が大幅に減少した。現在は、その率は回復傾向にあるが、策定時の率には至っていない。

33年度の目標については、平成28年3月に策定した一般廃棄物の処理基本計画にある33年度のリサイクル率28.3パーセントに変更している。

将来的には、現行計画策定時の29.5パーセントを上回る取組を行っていかねばならないと思っている。

(委員)

①24ページのグラフ「市民1人あたりCO2排出量」で9.2から14.1に増加している理由に「係数上昇によるもの」とあるが、変更前の係数でも表示したほうがより減少傾向の明確化がされるのではないか。

②同じくグラフで、25年までの記載を、26年あるいは27年までの表示にできないのか。

(事務局)

①係数の上昇は、東日本大震災による原発停止で電力が火力発電に頼ることとなったため電気の排出係数が上がったことによるものである。

係数変更がなければ減少のみであったと考えられるため、比較できるようにグラフを作成したい。

係数についても、できれば比較できるようにしたい。

②CO2排出量は、環境省が算出した最新の部門別CO2排出量の現況推計値を基に算出しているが、環境省データの最新は、25年である。